

日本ケーブルラボと主要ベンダー<sup>など</sup>8社

# 「2017年度の ケーブルテレビ技術・ 事業戦略」

一般社団法人日本ケーブルラボは1月27日、第8回ラボワークショップ「特別賛助会員新年事業戦略を語る」を都内で開催。ラボとベンダーなど会員企業が2017年度の技術・事業戦略を説明した。各社は4K・8K、IP化対応、無線活用、ネットワークの分散化・仮想化など、ケーブルテレビ技術やサービスを革新するソリューションの計画を披露した。次世代のケーブルテレビの方向性を示したワークショップのポイントを詳しくレポートする。

●取材・文：渡辺 元・本誌編集長

1月27日都内で開催された第8回ラボワークショップ「特別賛助会員新年事業戦略を語る」の会場。日本ケーブルラボの藤本勇治理事長は、「特別賛助会員の各社が新年の事業方針を語る初めての試み。各社はこの業界をソフトとハード面で動かしている会社で、その方針を聞くことはケーブルテレビ業界全体にとって非常に大事なこと」と語った

